

大阪都市計画都市高速鉄道 なにわ筋線に係る

事後調査報告書

(2025年4月～2026年3月)

2026年7月

関西高速鉄道株式会社

目 次

ページ

1. 事業者の氏名及び住所	1
1.1 整備主体	1
1.2 営業主体	1
2. 対象事業の概要	1
2.1 対象事業の名称	1
2.2 対象事業の実施区域	1
2.3 対象事業の概要	1
3. 対象事業の実施状況	4
4. 対象事業に係る事後調査の項目及び手法	9
5. 事後調査の結果及び検証	13
5.1 建設機械・工事関連車両の稼働状況	13
5.2 建設機械の稼働に伴う騒音・振動	29
5.3 廃棄物・残土	34
6. 環境保全及び創造のために講じた措置	37
7. 市長意見及びその履行状況	44
8. 履行状況写真	46

1. 事業者の氏名及び住所

1.1 整備主体

名 称 関西高速鉄道株式会社
氏 名 代表者 代表取締役社長 吉村 公秀
所在地 〒553-0003 大阪市福島区福島 3 丁目 14 番 24 号（福島阪神ビルディング 11 階）

1.2 営業主

- ① 名 称 西日本旅客鉄道株式会社
氏 名 代表者 代表取締役社長 倉坂 昇治
所在地 〒530-8341 大阪市北区芝田 2 丁目 4 番 24 号
- ② 名 称 南海電気鉄道株式会社
氏 名 代表者 代表取締役社長 梶谷 知志
所在地 〒542-0076 大阪市中央区難波 5 丁目 1 番 60 号

2. 対象事業の概要

2.1 対象事業の名称

大阪都市計画都市高速鉄道 なにわ筋線

2.2 対象事業の実施区域

対象事業の実施区域は、大阪市北区、福島区、西区、中央区及び浪速区である。

2.3 対象事業の概要

大阪都市計画都市高速鉄道なにわ筋線は、2023 年 3 月に開業した大阪駅（うめきたエリア）と、JR 難波駅及び南海本線の新今宮駅をつなぐ路線であり、JR 阪和線、南海本線を介して西日本最大の鉄道ターミナルである梅田ターミナル、大阪市の主要鉄道ターミナルである難波ターミナル及び天王寺ターミナル、国土軸との結節点となる新大阪駅及び関西国際空港とを直結する機能を有し、大阪都心及び京阪神圏の各拠点都市と関西国際空港とのアクセス性の強化等、広域鉄道ネットワークの拡充に資することを目的とした事業である（図 2.1 参照）。

事業計画の概要は表 2.1 に、路線計画（計画平面図・計画縦断図）は図 2.2 にそれぞれ示すとおりである。

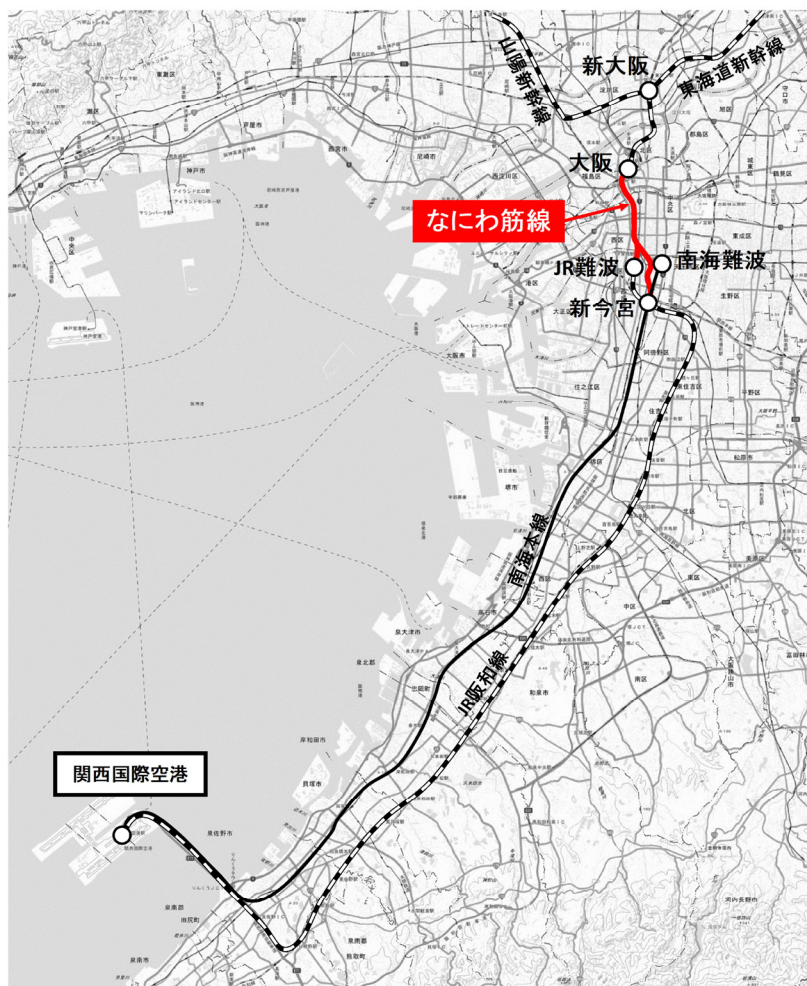


図 2.1 なにわ筋線による広域鉄道ネットワークの拡充

表 2.1 事業計画の概要

区 間	路線区間 (起点～終点)		○ 共同 営 業 区 間 : 大阪駅(うめきたエリア)～(仮称)西本町駅 (大阪市北区大深町～西区阿波座) ○ J R 営 業 区 間 : (仮称)西本町駅～J R 難波駅 (大阪市西区阿波座～浪速区湊町) ○ 南海 営 業 区 間 : (仮称)西本町駅～南海新今宮駅 (大阪市西区阿波座～浪速区戎本町)
	建設延長		複線約 7.2 km
施設整備 計画	規 格	軌 間 電気方式	1,067 mm 直流 1,500 V (架空線方式)
	駅計画		(仮称)中之島駅、(仮称)西本町駅、(仮称)南海新難波駅
	運転計画 (開業時)	編成車両数 運転本数 列車種別 走行速度	6 両、8 両、9 両編成 560 本/日 (最大想定) J R (特急系統、普通系統)、南海 (優等列車、普通列車) 最高速度 110km/h
	線路構造形式		複線 地下式約 6.5 km 掘割式約 0.3 km 嵩上式約 0.4 km
事業計画	事業スキーム		地下高速鉄道整備事業費補助による上下分離方式
	整備主体		関西高速鉄道株式会社
	営業主体		西日本旅客鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社
	輸送需要		約 24 万人/日
	工事期間		2019 年度から 2030 年度
	供用開始 (開業目標)		2031 年春
事業実施区域			大阪市北区、福島区、西区、中央区及び浪速区

3. 対象事業の実施状況

北梅田立坑区間は準備工、雨水放流渠工及び発進立坑工、国道2号開削部区間は準備工、受替工及び立坑工、中之島駅区間は準備工、土留工、地盤改良工及び路面履工、西本町駅区間は準備工、土留工及び地盤改良工、JR難波駅取付部区間は準備工、受替工及びボックスカルバート工、南海新難波駅立坑区間は、分岐部開削工事では地盤改良工及び土留工、立坑工事では準備工、そして、今回新たに着手した開削トンネル部区間及び掘割・擁壁部区間では準備工を実施した（図3.1、表3.1、表3.2参照）。

関係機関協議やその他調整により工程を見直し、2025年度は高架部区間の工事は行われなかった。

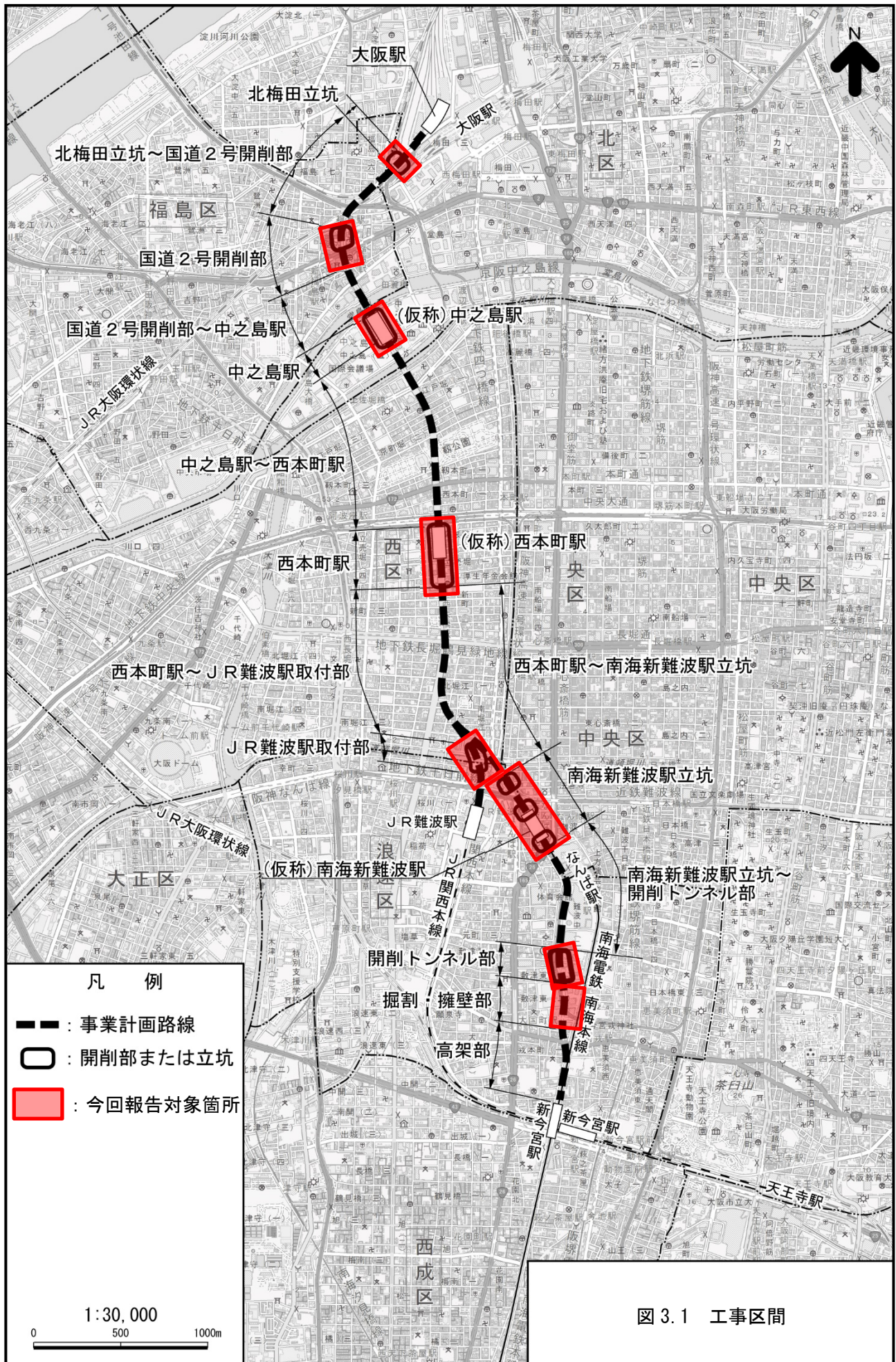


表 3.1 工事区間別工種別工程（全体）

（評価書）

工事区間	工種	工程（年度）									
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
北梅田立坑	開削・立坑工事										
北梅田立坑～国道2号開削部	シールド工事										
国道2号開削部	開削・立坑・推進工事										
国道2号開削部～中之島駅	シールド工事										
中之島駅	開削・立坑工事										
中之島駅～西本町駅	シールド工事										
西本町駅	開削・立坑工事										
西本町駅～J R難波駅取付部	シールド工事										
J R難波駅取付部	開削・立坑工事										
	道頓堀川開削工事										
	J R難波駅取付工事										
西本町駅～南海新難波駅立坑	シールド工事										
南海新難波駅立坑	分岐部開削工事										
	立坑工事										
	シールド工事										
南海新難波駅立坑～開削トンネル部	シールド工事										
開削トンネル部	立坑工事										
	開削工事										
掘削・擁壁部	掘削工事										
	擁壁工事										
高架部	高架工事										

（実績及び予定）

工事区間	工種	工程（年度）									
		2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
北梅田立坑	開削・立坑工事										
北梅田立坑～国道2号開削部	シールド工事										
国道2号開削部	開削・立坑										
国道2号開削部～中之島駅	シールド工事										
中之島駅	開削・立坑工事										
中之島駅～西本町駅	シールド工事										
西本町駅	開削・立坑工事										
西本町駅～J R難波駅取付部	シールド工事										
J R難波駅取付部	開削・立坑工事										
	道頓堀川開削工事										
	J R難波駅取付工事										
西本町駅～南海新難波駅立坑	シールド工事										
南海新難波駅立坑	分岐部開削工事										
	立坑工事										
	シールド工事										
南海新難波駅立坑～開削トンネル部	シールド工事										
開削トンネル部	立坑工事										
	開削工事										
掘削・擁壁部	掘削工事										
	擁壁工事										
高架部	高架工事										

■ 実績
■ 予定
 本報告書範囲

表 3.2(1) 工事区間別工種別工程（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

工事区間：北梅田立坑

工事内容		2025年度											
		2025年									2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工	支障物撤去工												
雨水放流渠工													
発進立坑工													
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
廃棄物・残土													

工事区間：国道2号開削部

工事内容		2025年度											
		2025年									2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工													
	下水管切回・移設工												
立坑工	鋼製連壁工												
	杭打工												
受替工													
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
廃棄物・残土													

工事区間：中之島駅

工事内容		2025年度											
		2025年									2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工													
土留工	地中連続壁工												
	地下水位低下工												
地盤改良工													
路面履工													
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
建設機械の稼働に伴う騒音・振動													
廃棄物・残土													

工事区間：西本町駅

工事内容		2025年度											
		2025年									2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工													
土留工													
地盤改良工													
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
廃棄物・残土													

工事区間：JR難波駅取付部

工事内容		2025年度											
		2025年									2026年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工													
受替工													
ボックスカルバート工	A区域												
	B区域												
	C区域												
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
建設機械の稼働に伴う騒音・振動													
廃棄物・残土													

表 3.2(2) 工事区間別工種別工程（2025 年 4 月～2026 年 3 月）

工事区間：南海新難波駅立坑

工事内容			2025年度												
			2025年										2026年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
分岐部開削工事	地盤改良工														
	土留工														
立坑工事	準備工	調査・試掘													
		ヤード整備工													
		歩道改良工													
		地下埋設物移設工													
調査項目・時期															
建設機械・工事関連車両の稼働状況															
廃棄物・残土															

工事区間：開削トンネル部、掘割・擁壁部

工事内容		2025年度											
		2025年										2026年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
準備工	道路工												
調査項目・時期													
建設機械・工事関連車両の稼働状況													
廃棄物・残土													

4. 対象事業に係る事後調査の項目及び手法

今回の事後調査の実施項目は表 4.1 に、建設工事期間中の事後調査内容は表 4.2 にそれぞれ示すとおりである。

建設機械の稼働に伴う騒音・振動については、音源パワーレベル及び基準点振動レベルが最大になると考えられる工事最盛期の候補として、中之島駅区間では掘削工（一次掘削）と地盤改良工の同時稼働、JR 難波駅取付部区間では掘削工（一次掘削）と地中障害物撤去工の同時稼働を抽出し、環境保全施設に近接して建設機械を設置することから、環境保全施設での騒音、振動が最も大きくなることが想定された日において事後調査を実施した。

表 4.1 事後調査実施項目

調査項目		調査内容
建設工事中	水 質	SS
	建設機械・工事関連車両の稼働状況	種類・型式別の稼働台数・稼働時間等
	建設機械の稼働に伴う騒音	騒音レベル
	建設機械の稼働に伴う振動	振動レベル
	廃棄物・残土	廃棄物量、掘削残土量

(注) は、今回調査がなかったことを示す。

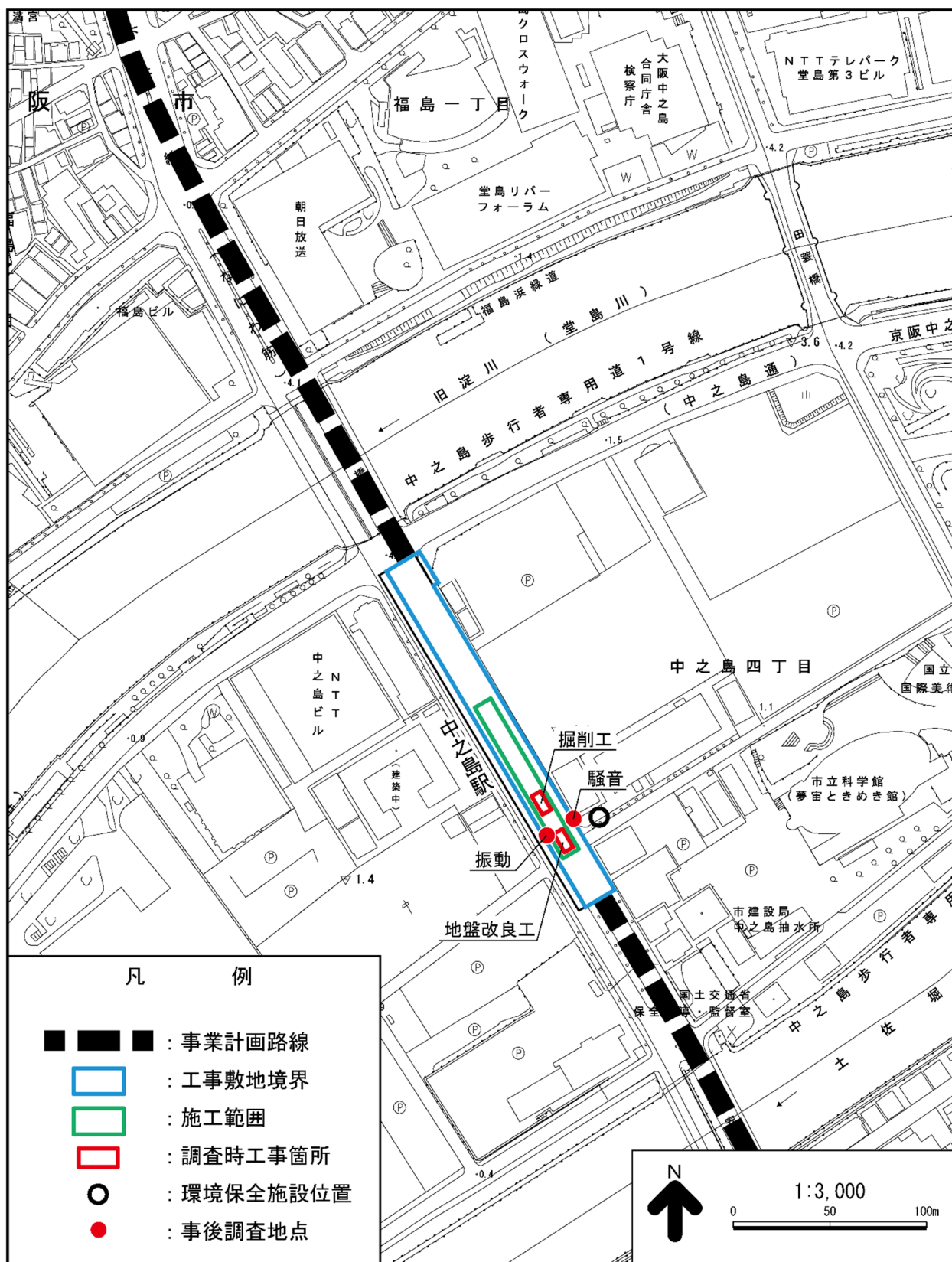
表 4.2 建設工事中の事後調査の内容

事後調査項目	事後調査の手法		事後調査の時期・期間及び頻度	評価指針
水 質 ³⁾ (SS)	- 調査地点：事業計画地の道頓堀川 - 調査方法：汚泥界面計を用いた簡易測定		仮締切用鋼管矢板の引抜き工事の期間中 ・SS :1回/日以上	環境への影響を最小限にとどめるよう環境保全について配慮されていること
建設機械・工事関連車両の稼働状況	- 調査地点：各工事区間（図 3.1 参照） - 調査方法：工事作業日報の整理等による。		建設工事中	環境負荷の低減に配慮された工程になっていること
建設機械の稼働に伴う騒音	調査地点	中之島駅区間の工事敷地境界(地上 1.2m 高さ・4.2m 高さ)(図 4.1(1)参照)	掘削工と地盤改良工の同時稼働実施日のうち 1 日 ¹⁾ (12/4)	特定建設作業に係る騒音の規制基準値(85 デシベル)以下であること
		JR 難波駅取付部区間の工事敷地境界(地上 1.2m 高さ・4.2m 高さ)(図 4.1(2)参照)	掘削工と地中障害物撤去工の同時稼働実施日のうち 1 日 ²⁾ (5/22)	
	調査方法：JIS Z 8731「環境騒音の表示・測定方法」に準拠した方法		工事時間帯を対象に測定	
建設機械の稼働に伴う振動	調査地点	中之島駅区間の工事敷地境界(図 4.1(1)参照)	掘削工と地盤改良工の同時稼働実施日のうち 1 日 ¹⁾ (12/4)	特定建設作業に係る振動の規制基準値(75 デシベル)以下であること
		JR 難波駅取付部区間の工事敷地境界(図 4.1(2)参照)	掘削工と地中障害物撤去工の同時稼働実施日のうち 1 日 ²⁾ (5/22)	
	調査方法：JIS Z 8735「振動レベル測定方法」に準拠した方法		工事時間帯を対象に測定	
廃棄物・残土	- 調査地点：各工事区間（図 3.1 参照） - 調査方法：再資源化の目標値等を設定し、請負業者にその旨を指示したうえで、それらの達成状況や廃棄物等の発生量を、請負業者の工事日報等により把握する方法		建設工事中	発生量・排出量の抑制及び適切なリサイクル・処理がなされていること

(注) 1) 音源パワーレベル及び基準点振動レベルが最大になると考えられる工事最盛期の候補として掘削工と地盤改良工の同時稼働を抽出し、騒音・振動調査を実施した。

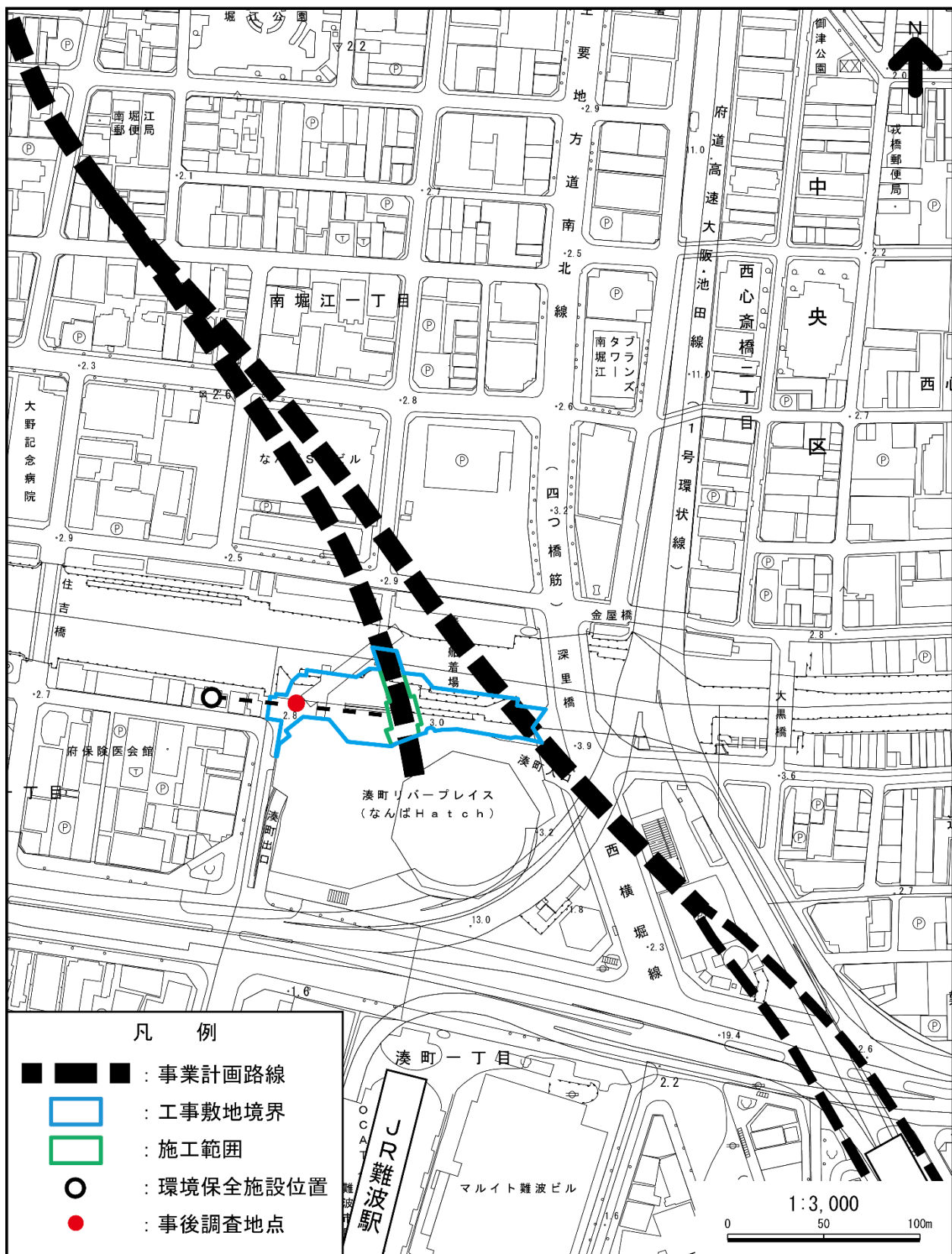
2) 音源パワーレベル及び基準点振動レベルが最大になると考えられる工事最盛期の候補として掘削工と地中障害物撤去工の同時稼働を抽出し、騒音・振動調査を実施した。

3) ■ は、今回調査がなかったことを示す。



(注) 事後調査地点は、工事箇所と環境保全施設とを結んだ直線上の工事敷地境界上に設定した。騒音は地上1.2m高さ及び地上4.2m高さ、振動は地盤上に設定した。

図4.1(1) 建設機械の稼働に伴う騒音・振動の事後調査地点(中之島駅区間)



(注) 事後調査地点は、施工範囲と環境保全施設とを結んだ直線上の工事敷地境界より内側に設定した。騒音は地上1.2m高さ及び地上4.2m高さ、振動は地盤上に設定した。

図 4.1(2) 建設機械の稼働に伴う騒音・振動の事後調査地点 (JR 難波駅取付部区間)